



相国寺承天閣美術館開館四十周年〔Ⅱ〕

# 後水尾院の京

PRESS RELEASE

## 【概要】

室町時代に足利義満によって創建された相国寺は、中世の動乱によって多くの伽藍を焼失しました。近世になり、復興に尽力する僧侶たちに手を差し伸べたのが、寛永文化の主導者、ごみずのおいん後水尾院でした。後水尾院は相国寺僧、きんしゆくけんたく昕叔顕暉を師としてらくしよく落飾し、複数の伽藍を再興しました。

院の禅への興味に加え、御所との地理的な近さ、貴族の子弟の入寺によって、当時の公家社会と密接な関係を築いた相国寺とその塔頭には、多くのゆかりの什物が残されています。

十七世紀の京を彩った華麗な文化を今に伝える寺宝の数々を展示室でご覧ください。

第一章 後水尾院と禪

初公開 後水尾院寄進伽藍由緒記 相国寺蔵

後水尾天皇像 靈元天皇賛 幸仁親王筆 相国寺蔵 (画像)



夢窓国師像 堯恕法親王筆

普明国師像 足利義満像 探幽筆 相国寺蔵 Ⅱ期

隔莫記 鳳林承章筆 三十冊 鹿苑寺蔵 (画像)



第二章 宮家の菩提寺

達磨図 後陽成天皇筆 慈照院蔵

八条官家初代智仁親王画像 慈照院蔵

後水尾院和歌 慈照院蔵 Ⅱ期

二十八品和歌 道晃法親王筆 相国寺蔵 Ⅰ期(画像)

布袋図 後光明天皇筆 慈照院蔵 Ⅰ期

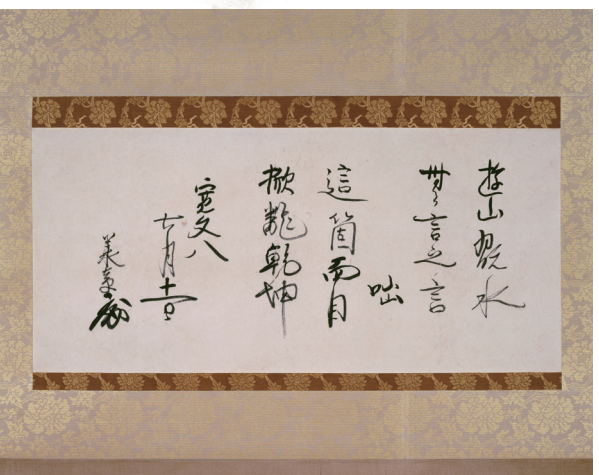
後西天皇和歌懐紙 慈照院蔵 Ⅰ期



第三章 十七世紀 禅僧の書画

鳳林承章墨蹟 遊山翫水 鹿苑寺蔵 Ⅰ期(画像)

舞布袋図 沢庵宗彭賛 松花堂昭乗筆 鹿苑寺蔵 Ⅱ期



第四章 華麗なる京の芸術

四季山水図座屏 住吉如慶筆 相国寺蔵

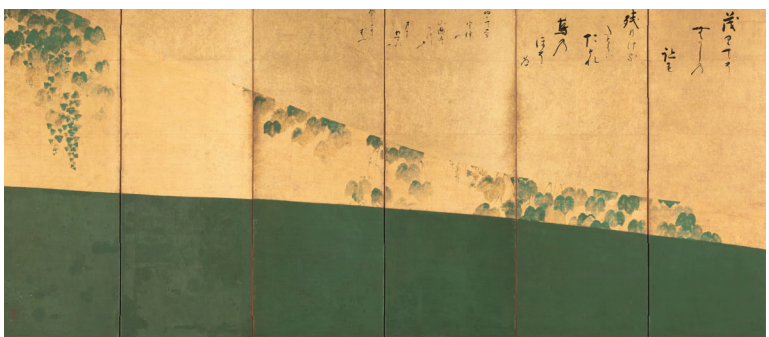
探幽縮図 狩野探幽筆 相国寺蔵

**重要文化財** 蔦の細道図屏風 俵屋宗達筆

烏丸光広賛 相国寺蔵 I期 (画像)



右隻



左隻

**重要文化財**

赤楽茶碗

加賀

本阿弥光悦

相国寺蔵 (画像)

竹花入

添金森宗和消息文

鹿苑寺蔵

色絵龍田川透かし鉢

尾形乾山作

慈照寺蔵

II期

※展示作品は予告なく変更する場合がございます。



【会期】Ⅰ期：二〇二六年五月三十一日（日）～七月二十六日（日）

Ⅱ期：二〇二六年八月二日（日）～九月二十七日（日）

【イベント】

記念講演：二〇二六年八月二十九日（土） 十四時～十五時半  
「江戸時代の官中法会と相国寺」

講師：佐藤一希氏（名古屋大学准教授）

場所：当館二階講堂（十三時半開場）

定員：先着八十名

※イベントには当日の拝観券が必要です。

【開催時間】 一〇時～一七時（入館は一六時三〇分まで）

【拝観料】 大人：一〇〇〇円 大学生・高校生：八〇〇円

中学生：五〇〇円 小学生無料（要保護者同伴）

※大人二〇名様以上は団体割引で各八〇〇円

【主催】 相国寺承天閣美術館

【協賛】 一般財団法人 萬年会 鹿苑寺 慈照寺

【アクセス】

▼京都駅より 京都市営地下鉄今出川駅下車三番出口から徒歩八分

▼阪急電車烏丸駅より 京都市営地下鉄今出川駅下車三番出口から徒歩八分

▼京阪電車出町柳駅三番出口より 徒歩二〇分または市バス

▼市バス五九、二〇一、二〇三号系統同志社前下車 徒歩六分

▼市バス一〇二号系統（洛バス）烏丸今出川下車 徒歩八分

【報道関係者様お問い合わせ先】

相国寺承天閣美術館PR事務局（TMオフィス内）

担当：馬場・西坂・永井

MOBILE: 〇九〇一六〇六五〇〇六三（馬場）

〇九〇一五六六七三〇四一（永井）

TEL: 〇五〇一八〇七二九一九

FAX: 〇六一六二三一一四四四〇

E-mail: shokokuji@tm-office.co.jp

〒五四一〇〇四六

大阪市中央区平野町四一七

平野町イシカワビル

